

平成25年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成25年4月15日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 山陽百貨店
コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画統括部長 (氏名) 岩野 誠 TEL 079-223-1231
定時株主総会開催予定日 平成25年5月23日 有価証券報告書提出予定日 平成25年5月24日

配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期の連結業績(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期	19,954	1.8	360	0.5	387	9.4	264	29.3
24年2月期	20,327	1.4	358	32.5	354	43.7	204	19.0

(注) 包括利益 25年2月期 268百万円 (32.0%) 24年2月期 203百万円 (19.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
25年2月期	329.29		25.0	2.8	1.8
24年2月期	254.51		24.9	2.5	1.8

(参考) 持分法投資損益 25年2月期 0百万円 24年2月期 0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年2月期	13,544	1,192	8.8	1,484.50
24年2月期	13,756	923	6.7	1,150.23

(参考) 自己資本 25年2月期 1,192百万円 24年2月期 923百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年2月期	416	81	272	1,604
24年2月期	479	30	684	1,542

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
24年2月期				0.00	0.00			
25年2月期				0.00	0.00			
26年2月期(予想)				0.00	0.00			

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	9,359	3.2	16	88.6	37	76.4	20	76.7	26.06
通期	19,425	2.7	178	50.6	203	47.6	151	42.8	188.44

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期	810,000 株	24年2月期	810,000 株
期末自己株式数	25年2月期	6,973 株	24年2月期	6,800 株
期中平均株式数	25年2月期	803,124 株	24年2月期	803,320 株

(参考) 個別業績の概要

平成25年2月期の個別業績(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期	19,913	1.8	348	0.2	358	7.3	245	28.1
24年2月期	20,285	1.4	347	28.5	334	39.4	191	14.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期	305.66	
24年2月期	238.53	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
25年2月期	11,240		1,006		9.0		1,253.50	
24年2月期	11,516		757		6.6		943.02	

(参考) 自己資本 25年2月期 1,006百万円 24年2月期 757百万円

監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
(4) 会社の対処すべき課題	4
3. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	13
(6) 追加情報	13
(7) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 個別財務諸表	14
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	16
(3) 株主資本等変動計算書	17
(4) 継続企業の前提に関する注記	19
5. その他	19
販売実績	19

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の概況

当連結会計年度における国内経済は、東日本大震災の復興需要が下支えする中、円高の修正や株価回復など一部に改善の動きもみられましたが、欧州をはじめとする世界経済の不確実性や国内の不安定なエネルギー事情などの懸念材料により、景気は本格的な回復を実感するには至りませんでした。

百貨店業界におきましては、東日本大震災の影響による前年の買い控えの反動や都市部店舗の増床・改装効果により活況を呈する一面もみられましたが、地方においては消費者の低価格志向の定着や他業種との競合激化により、依然、前年を下回る厳しい情勢が続いております。また、姫路地区ではJR姫路駅周辺の再開発工事に伴い、当社を含めた既存商業施設へのアクセス環境の悪化が集客面で大きな影響を及ぼしました。

この間当社グループにおきましては、中期経営計画（平成23年度～平成25年度）の中間年度を迎え、そのビジョンである「日本一生き生きとした百貨店」の実現に向け、「笑顔と挨拶があふれる売場づくり」を行動指針として、明るく活気のある店舗づくりに取り組んでまいりました。その基本方針といたしましては、業務推進力の強化に向けた「スピード力」の醸成、並びに業績向上に直結する「現場重視運営」の徹底に強い意識をもって推進してまいりました。

営業面では、地域において競争力を発揮できる商品群の育成及び清潔で明るい売場環境の整備に取り組むと同時に、新しい商材の開発にも注力いたしました。具体的には食料品フロアにおいてグロサリーを中心としたセルフ方式の売場であるSマートをリニューアルするとともに、全国の名産品を取り揃えた「楽遊旬彩」コーナーや人気の洋菓子ショップ「アンリ・シャルパンティエ」、「横濱フランセ」をオープンいたしました。また、生活雑貨フロアにおきましては、食器・台所用品ゾーンの環境面の見直しを図り、お客さま視点に立った選びやすく買い回りのしやすい売場づくりに取り組みました。催し会場におきましては、毎回多くのお客さまで賑わう「北海道物産展」や5年ぶりの開催となる「山陽の大京都展」など人気の物産展に加え、絵画・書から彫刻及び陶芸といった総合的な芸術展である「大藪雅孝展」など話題性のある催事を開催し、また、美術画廊におきましては、開店60周年記念イベントとして開催した「草間彌生展」が大きな反響を呼び、幅広い年代のお客さまに多数ご来店いただきました。

一方、経費面では、販売事務用品及び広告宣伝費の効率的な運用や節電・省エネルギー対策をはじめ、あらゆる費用項目について、強い姿勢で圧縮と削減に努めるとともに、より効率的な経費執行を推進してまいりました。

以上のような取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は19,954百万円（前期比1.8%減）となりましたが、引き続き取り組んでまいりました経費圧縮の効果もあり、営業利益は360百万円（前期比0.5%増）、経常利益は387百万円（前期比9.4%増）、当期純利益は264百万円（前期比29.3%増）と増益を確保いたしました。

②次期の見通し

今後の流通業界の情勢は、政府による金融政策、財政政策及び成長戦略、いわゆる“3本の矢”の実行によりデフレ脱却と景気回復への期待が高まる一方で、エネルギー問題や雇用情勢など不安要素も山積しており、消費環境が好転するまでには、なお時間を要するものと予想されます。当社グループを取り巻く環境につきましても、JR姫路駅前に開業する大型商業施設との熾烈な競合が必至の情勢であり、今後はかつてない厳しい経営環境に直面することとなります。

このような状況の中、当社グループは開店60周年という記念すべき年を迎え、将来に向けての新たな第一歩を踏み出しました。これを機に、今一度、「基本に立ち返る」を合言葉に全従業員が「笑顔と挨拶」を励行し、温かさのあふれる百貨店として地域のお客さまからさらなるご支持をいただけるよう店舗づくりを推進してまいります。

平成26年2月期通期の連結業績の見通しにつきましては、売上高19,425百万円（前期比2.7%減）、営業利益178百万円（前期比50.6%減）、経常利益203百万円（前期比47.6%減）、当期純利益151百万円（前期比42.8%減）を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、主に建物及び構築物の減少により、前連結会計年度末に比べ211百万円減少し、13,544百万円となりました。負債は、主に借入金及び商品券の減少により、前連結会計年度末に比べ479百万円減少し、12,352百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ268百万円増加し、1,192百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ62百万円増加し、1,604百万円（前期比4.0%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は416百万円となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益383百万円、減価償却費288百万円等による収入に対し、仕入債務の減少46百万円、商品券の減少82百万円等による支出によるものであり、前年同期に比べ62百万円の収入減となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は81百万円（前期は30百万円の収入）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出87百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は272百万円となりました。これは主として、長期借入金の借入2,360百万円による収入に対し、長期借入金の返済2,592百万円による支出があったことによるものであり、前年同期に比べ411百万円の支出減となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年2月期	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期
自己資本比率（%）	2.7	3.7	5.0	6.7	8.8
時価ベースの自己資本比率（%）	10.3	6.5	9.0	7.3	8.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	22.7	17.4	10.9	12.5	13.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	1.6	2.1	3.7	3.6	4.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

（注3）営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動による営業キャッシュ・フローを利用しています。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまに対する利益還元である配当を、業績や経済情勢等を総合的に勘案し、継続的かつ安定的に行うべきものと考えており、経営の最重要政策のひとつとして認識しております。

一方、財務体質強化のための内部留保は収益力向上のための再投資資金としての重要な側面も併せていることから、景気変動に耐えうる強固な企業体質の構築が株主の皆さまに対する根本責務と認識しております。

当社の自己資本比率は急速に改善してきましたが、JR姫路駅前に開業する大型商業施設との熾烈な競争等、かつてない厳しい経営環境が予想されます。従いまして、現在の当社の最優先課題は、着実に改善の歩を進め、将来の投資に耐えうる強固な財務体力の構築を図ることであり、そのためにも有利子負債の返済及び自己資本の充実を最優先に取り組みたく、当期の配当につきましては見送りとさせていただきます。

今後につきましては、将来の安定的継続配当を実現するべく、財務の健全化に向け全力を傾注してまいり所存でございます。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、「『お客さま第一』の企業精神に則り、ひとびとと地域の生活文化の向上に貢献する企業を目指す。」を企業理念とし、地域のお客さまに「個性のある」「ゆとりのある」「清潔な・明るい笑顔のある」百貨店をご提供し、全社をあげてビジョンであります「日本一生き生きとした百貨店」を実現できるよう取り組んでまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社グループの中期経営計画（平成23年度～平成25年度）の最終年度（平成25年度）における最重要連結経営目標は、売上高経常利益率2%の達成であります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

中期経営計画は、以下の3点を基本方針として取り組んでまいります。

- ①利益率アップのための施策の徹底実施
- ②業務推進力の強化に向けた「スピード力」の醸成
- ③業績向上に直結する「現場重視運営」の徹底

(4) 会社の対処すべき課題

百貨店業界は、政府による金融政策等の実行により、デフレ脱却と景気回復への期待が高まる一方、不安要素も山積しており、消費環境が好転するまでには、なお時間を要するものと予想されます。

また、当社を取り巻く周辺環境は、JR姫路駅に開業する大型商業施設との熾烈な競合が必至の情勢であり、未だかつてない厳しい経営環境に直面することになりました。

このような状況のもと当社グループは、新たな競合に耐えうるための施策を着実に実行するため、最終年度となる中期経営計画の仕上げに向けての取り組みを強力に推し進めることにより改革をスピードアップさせ、収益力の向上と財務体質の強化を図り、企業基盤の安定化に努めてまいります。

3. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当連結会計年度 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,542,383	1,604,841
受取手形及び売掛金	652,904	587,896
有価証券	699,556	699,734
商品	943,427	925,050
貯蔵品	31,325	21,089
繰延税金資産	19,294	16,762
その他	135,761	127,740
貸倒引当金	△66	△56
流動資産合計	4,024,586	3,983,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,949,791	12,981,858
減価償却累計額	△8,861,176	△9,095,053
建物及び構築物(純額)	4,088,615	3,886,805
土地	4,724,521	4,724,084
その他	867,682	897,240
減価償却累計額	△692,585	△691,580
その他(純額)	175,097	205,659
有形固定資産合計	8,988,233	8,816,549
無形固定資産	120,617	119,488
投資その他の資産		
投資有価証券	80,696	91,597
長期貸付金	2,643	—
繰延税金資産	10,945	12,409
差入保証金	467,828	468,198
その他	76,962	69,351
貸倒引当金	△15,912	△15,698
投資その他の資産合計	623,164	625,858
固定資産合計	9,732,015	9,561,895
資産合計	13,756,602	13,544,955

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当連結会計年度 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,887,319	1,841,275
短期借入金	140,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,590,188	1,670,000
未払金	421,185	415,821
未払法人税等	115,470	66,516
未払消費税等	43,116	45,073
前受金	1,984,158	2,028,000
賞与引当金	14,937	14,623
商品券回収損引当金	282,900	278,500
商品券	1,513,795	1,431,415
その他	80,084	79,566
流動負債合計	9,073,157	7,970,792
固定負債		
長期借入金	3,262,548	3,950,000
繰延税金負債	5,648	7,807
退職給付引当金	221,061	262,455
その他	270,324	161,808
固定負債合計	3,759,582	4,382,070
負債合計	12,832,739	12,352,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	515,852	780,311
自己株式	△14,762	△14,986
株主資本合計	913,645	1,177,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,217	14,212
その他の包括利益累計額合計	10,217	14,212
純資産合計	923,862	1,192,092
負債純資産合計	13,756,602	13,544,955

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	20,327,566	19,954,741
売上原価	15,846,873	15,619,040
売上総利益	4,480,692	4,335,700
販売費及び一般管理費	4,121,881	3,975,144
営業利益	358,811	360,556
営業外収益		
受取利息	2,319	1,108
受取配当金	2,481	2,044
受取賃貸料	35,611	37,757
受取手数料	19,381	18,214
債務勘定整理益	130,100	128,644
持分法による投資利益	89	148
その他	43,722	40,451
営業外収益合計	233,706	228,368
営業外費用		
支払利息	133,113	103,454
商品券回収損引当金繰入額	100,928	90,534
その他	4,045	7,335
営業外費用合計	238,086	201,325
経常利益	354,430	387,599
特別利益		
固定資産受贈益	4,168	3,920
投資有価証券売却益	5,650	—
特別利益合計	9,818	3,920
特別損失		
固定資産除却損	16,526	7,509
減損損失	—	436
投資有価証券等評価損	2,040	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,369	—
特別損失合計	45,935	7,945
税金等調整前当期純利益	318,313	383,574
法人税、住民税及び事業税	113,940	118,100
法人税等調整額	△81	1,015
法人税等合計	113,858	119,115
少数株主損益調整前当期純利益	204,454	264,458
少数株主利益	—	—
当期純利益	204,454	264,458

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益	204,454	264,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,088	3,995
その他の包括利益合計	△1,088	3,995
包括利益	203,366	268,453
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	203,366	268,453
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	405,000	405,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	405,000	405,000
資本剰余金		
当期首残高	7,554	7,554
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	7,554	7,554
利益剰余金		
当期首残高	311,397	515,852
当期変動額		
当期純利益	204,454	264,458
当期変動額合計	204,454	264,458
当期末残高	515,852	780,311
自己株式		
当期首残高	△14,558	△14,762
当期変動額		
自己株式の取得	△203	△224
当期変動額合計	△203	△224
当期末残高	△14,762	△14,986
株主資本合計		
当期首残高	709,394	913,645
当期変動額		
当期純利益	204,454	264,458
自己株式の取得	△203	△224
当期変動額合計	204,250	264,234
当期末残高	913,645	1,177,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	11,305	10,217
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,088	3,995
当期変動額合計	△1,088	3,995
当期末残高	10,217	14,212

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
純資産合計		
当期首残高	720,700	923,862
当期変動額		
当期純利益	204,454	264,458
自己株式の取得	△203	△224
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,088	3,995
当期変動額合計	203,162	268,229
当期末残高	923,862	1,192,092

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	318,313	383,574
減価償却費	311,241	288,314
減損損失	—	436
固定資産除却損	9,153	2,001
投資有価証券等評価損益(△は益)	2,040	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,415	△223
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△422,648	41,394
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	4,800	△4,400
受取利息及び受取配当金	△4,801	△3,152
支払利息	133,113	103,454
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,650	—
持分法による投資損益(△は益)	△89	△148
有形固定資産売却損益(△は益)	△687	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,369	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,075	65,007
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23,970	28,612
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,769	△46,044
商品券の増減額(△は減少)	△147,399	△82,380
差入保証金の増減額(△は増加)	3,980	△370
前受金の増減額(△は減少)	3,136	43,841
未払金の増減額(△は減少)	136,468	△43,224
未払消費税等の増減額(△は減少)	△463	1,957
その他	320,921	△92,454
小計	601,570	686,197
利息及び配当金の受取額	5,274	2,422
利息の支払額	△137,608	△105,104
法人税等の支払額	△5,635	—
法人税等の還付額	16,228	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	—	△166,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	479,830	416,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△699,244	△699,307
有価証券の償還による収入	700,000	700,000
有形固定資産の取得による支出	△77,321	△87,032
無形固定資産の取得による支出	△1,300	—
有形固定資産の売却による収入	106,275	6,952
投資有価証券の取得による支出	△4,528	△4,684
投資有価証券の売却による収入	6,300	—
その他	185	2,643
投資活動によるキャッシュ・フロー	30,366	△81,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△40,000
長期借入れによる収入	1,100,000	2,360,000
長期借入金の返済による支出	△1,705,182	△2,592,737
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△79,014	—
自己株式の取得による支出	△203	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△684,400	△272,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△174,204	62,458
現金及び現金同等物の期首残高	1,716,587	1,542,383
現金及び現金同等物の期末残高	1,542,383	1,604,841

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)

当社グループの報告セグメントは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

当社グループの報告セグメントは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)		当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	
1株当たり純資産額	1,150円23銭	1株当たり純資産額	1,484円50銭
1株当たり当期純利益金額	254円51銭	1株当たり当期純利益金額	329円29銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。	

(注) 算定上の基礎

1. 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当連結会計年度 (平成25年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	923,862	1,192,092
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	923,862	1,192,092
普通株式の発行株式数(株)	810,000	810,000
普通株式の自己株式数(株)	6,800	6,973
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	803,200	803,027

2. 1株当たり当期純利益金額

	前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
当期純利益(千円)	204,454	264,458
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	204,454	264,458
普通株式の期中平均株式数(株)	803,320	803,124

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表
 (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	208,180	212,849
受取手形	43,496	32,073
売掛金	609,420	555,834
商品	943,427	925,050
貯蔵品	31,325	21,089
前払費用	6,055	3,667
関係会社短期貸付金	340,000	336,000
その他	82,427	71,789
貸倒引当金	△100	△90
流動資産合計	2,264,234	2,158,264
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,781,158	12,813,224
減価償却累計額	△8,737,066	△8,966,990
建物(純額)	4,044,091	3,846,234
構築物	110,392	110,392
減価償却累計額	△78,214	△80,241
構築物(純額)	32,178	30,150
工具、器具及び備品	852,174	880,982
減価償却累計額	△678,570	△676,931
工具、器具及び備品(純額)	173,603	204,051
土地	4,267,831	4,267,394
有形固定資産合計	8,517,705	8,347,830
無形固定資産		
借地権	110,612	110,612
ソフトウエア	2,995	1,866
その他	6,783	6,783
無形固定資産合計	120,391	119,261
投資その他の資産		
投資有価証券	54,846	65,598
関係会社株式	45,000	45,000
従業員に対する長期貸付金	2,643	—
破産更生債権等	15,981	15,763
差入保証金	452,261	452,631
長期前払費用	22,075	15,915
その他	37,355	36,222
貸倒引当金	△15,912	△15,698
投資その他の資産合計	614,251	615,433
固定資産合計	9,252,348	9,082,525
資産合計	11,516,582	11,240,790

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当事業年度 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	116,373	97,746
買掛金	1,770,945	1,743,529
短期借入金	140,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,430,188	1,670,000
1年内返済予定の関係会社長期借入金	1,160,000	—
未払金	413,367	408,695
未払費用	14,657	10,836
未払法人税等	109,395	60,822
未払消費税等	38,151	40,559
前受金	4,310	2,025
預り金	65,260	68,329
賞与引当金	14,100	13,800
商品券回収損引当金	240,000	239,000
商品券	1,513,795	1,431,415
流動負債合計	7,030,547	5,886,760
固定負債		
長期借入金	3,262,548	2,790,000
関係会社長期借入金	—	1,160,000
長期末払金	217,852	106,755
繰延税金負債	5,634	7,794
退職給付引当金	190,097	227,829
資産除去債務	34,181	35,001
その他	18,291	20,051
固定負債合計	3,728,604	4,347,432
負債合計	10,759,152	10,234,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金		
資本準備金	7,554	7,554
資本剰余金合計	7,554	7,554
利益剰余金		
利益準備金	101,250	101,250
その他利益剰余金		
別途積立金	96,000	96,000
繰越利益剰余金	152,194	397,678
利益剰余金合計	349,444	594,928
自己株式	△14,762	△14,986
株主資本合計	747,237	992,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,192	14,100
評価・換算差額等合計	10,192	14,100
純資産合計	757,429	1,006,597
負債純資産合計	11,516,582	11,240,790

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	20,285,826	19,913,544
売上原価		
商品期首たな卸高	917,560	943,427
当期商品仕入高	15,873,284	15,600,988
合計	16,790,844	16,544,415
商品期末たな卸高	943,427	925,050
商品売上原価	15,847,417	15,619,364
売上総利益	4,438,409	4,294,179
販売費及び一般管理費	4,090,771	3,945,819
営業利益	347,637	348,360
営業外収益		
受取利息	221	195
受取配当金	2,397	1,960
受取賃貸料	42,534	44,496
受取手数料	18,059	16,886
債務勘定整理益	109,318	106,415
雑収入	44,239	41,063
営業外収益合計	216,770	211,017
営業外費用		
支払利息	140,714	111,740
商品券回収損引当金繰入額	85,523	81,906
雑損失	4,036	7,220
営業外費用合計	230,274	200,868
経常利益	334,133	358,509
特別利益		
固定資産受贈益	4,168	3,920
投資有価証券売却益	5,650	—
特別利益合計	9,818	3,920
特別損失		
固定資産除却損	16,526	7,509
減損損失	—	436
投資有価証券等評価損	2,040	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,369	—
特別損失合計	45,935	7,945
税引前当期純利益	298,016	354,484
法人税、住民税及び事業税	106,400	109,000
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	106,400	109,000
当期純利益	191,616	245,484

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	405,000	405,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	405,000	405,000
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	7,554	7,554
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	7,554	7,554
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	101,250	101,250
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	101,250	101,250
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	96,000	96,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	96,000	96,000
繰越利益剰余金		
当期首残高	△39,421	152,194
当期変動額		
当期純利益	191,616	245,484
当期変動額合計	191,616	245,484
当期末残高	152,194	397,678
利益剰余金合計		
当期首残高	157,828	349,444
当期変動額		
当期純利益	191,616	245,484
当期変動額合計	191,616	245,484
当期末残高	349,444	594,928

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	当事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)
自己株式		
当期首残高	△14,558	△14,762
当期変動額		
自己株式の取得	△203	△224
当期変動額合計	△203	△224
当期末残高	△14,762	△14,986
株主資本合計		
当期首残高	555,824	747,237
当期変動額		
当期純利益	191,616	245,484
自己株式の取得	△203	△224
当期変動額合計	191,412	245,260
当期末残高	747,237	992,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	10,681	10,192
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△488	3,907
当期変動額合計	△488	3,907
当期末残高	10,192	14,100
純資産合計		
当期首残高	566,505	757,429
当期変動額		
当期純利益	191,616	245,484
自己株式の取得	△203	△224
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△488	3,907
当期変動額合計	190,924	249,167
当期末残高	757,429	1,006,597

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

5. その他

販売実績

当連結会計年度の販売実績は次のとおりであります。

(単位：千円)

品 名	当連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	前年同期比 (%)
衣 料 品	7,330,854	101.1
身 回 品	1,581,436	100.1
家庭用品	1,010,217	90.2
食 料 品	6,393,370	97.8
雑 貨	2,650,490	94.1
そ の 他	988,374	96.8
合 計	19,954,741	98.2

- (注) 1. 販売高は、連結会社間相互の内部販売高を控除しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。